

凍結防止剤散布車仕様書

1. 概 要

この仕様書は、凍結防止剤散布車（乾式 3 t 級、4 × 4、標識装置付（以下「納入機」という。））に適用するものである。納入機は以下に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性及び良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和26年67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。

ここに明記されていない箇所については、広島高速道路公社（以下「発注者」という）と受注者とが協議のうえ決定するものとする。

2. 目 的

納入機は、降積雪時における道路交通の確保を目的とし、道路の凍結を防止する凍結防止剤散布作業に使用するものとする。

3. 納入台数 1 台

4. 性 能（JCMAS T008 性能試験）

散布幅	最小3.0m以下～最大7.0m以上（切換 5 段階以上）
散布量	最小15g/m ² 以下～最大50g/m ² 以上（切換 5 段階以上）
作業速度	最小5km以上～最大40km/h 以上
ホッパ容量	2.0m ³ 以上
散布剤積載量	塩2,000kg以上
運転室内騒音レベル	厚生労働省平成4年10月1日 基発第546号「騒音障害防止のためのガイドライン」第1管理区分による。（測定方法は、JCMAS H011の機械定置時による）

5. 主要諸元

全長	7,000mm以下
全幅	2,500mm以下
全高（黄色灯火上端まで）	3,400mm以下
最大積載量	2,000kg以上
車両総質量（重量）	8,000kg未満

なお、「10. 付属装置及び付属品 10-2車両総質量に含まないもの」以外は車両総質量に含むものとする。

最小回転半径（最外側車輪中心）	7.0m以下
乗車定員	2人以上

6. 車両諸元

機 関	
形式	水冷、ディーゼル機関
最高出力	140kW以上
動力伝達装置	
変速機	前進 5 段 後進 1 段 以上
駆動方式	総輪駆動式

走行装置	
タイヤ	スタッドレスタイヤ
かじ取り装置	倍力装置付
運転室	
構造	全鋼製密閉形
ハンドル位置	右ハンドル
窓	(前) 冬用ワイパーブレード 1 式

7. 作業装置

形式	散布量車速同調制御式
散布対象薬剤種別	塩（原塩，粉碎塩） ただし、塩化カルシウム積載時も散布量車速同調制御が行えること。
ホッパ	
構造	鋼板溶接構造
ホッパカバー	電動または油圧開閉式
確認装置	・ホッパ残量確認窓（ホッパ前方のみ） ・吐出確認装置
薬剤引出装置	
形式	ベルトコンベヤ式又はスクリーコンベヤ式
散布後部カバー	S U S 製（カバーがない場合を除く）

8. 計器類

車両本体に係る計器類（メーカー標準）	1 式
運行記録計	1 式

9. 照明装置類

前部霧灯	2 灯
黄色灯火（前、L E D 散光式、幅500mm以上）	1 式
〃 （後、L E D 散光式、幅500mm以上）	1 式
前照灯	1 式

10. 付属装置及び付属品

10-1 車両総質量に含むもの

バックブザー	1 式
カーエアコン	1 式
標識装置（L E D 式、車体後部取付）	1 式
1) 車体後部架台及び取付台を含む。	
2) 表示面に凍結防止対策を施すものとする。	
散布剤飛散防止用カバー	1 式
バッテリーカットオフスイッチ	1 式
運転席内に設けない場合、S U S 製防水スイッチボックスに収めるなど防水対策を行うこと	
ドライブレコーダ（前方、後方用）	1 式
E T C 2. 0 車載器	1 式
セットアップを行うものとする。	

10-2 車両総質量に含まないもの

標準付属工具	1 式
取扱説明書（電子可【PDF】）	1 部
部品表（車両用除く、架装部品用 電子可【PDF】）	1 部
スペアタイヤ（ホイール付）	1 式
タイヤチェーン（全輪）	1 式

11. 塗装

納入機は、国土交通省建設機械塗装基準によるほか、下記と同等以上の防錆塗装したものでなければならない。

散布装置（内外面塗装）

ポリウレタン樹脂塗料（最終膜厚 105 μ m 以上）

シャシ塗装

エポキシ樹脂塗装（最終膜厚 100 μ m 以上）

運転席表面


ポリウレタン樹脂塗装（最終膜厚 90 μ m 以上）

運転席底面

エポキシ樹脂塗装（最終膜厚 100 μ m 以上）

また、車体両側面・車体後部・ホッパ両側面に次のとおり社章及び社名を表示すること。

なお、文字の大きさ等については別途指示する。

社章：

社名：広島高速道路公社（丸ゴシック体、黒色）

12. 検査

完成検査は、寸法、外観、その他組立状況を検査し、更に車両や作業装置類の動作等の確認を行い一般的な機能を検査する。

ただし、車両総重量については、本仕様書で定めたとおりであることを、その内訳が判る資料により検査する。

なお、製作誤差については、「独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規程 別添 自動車型式認証実施要領 附則 1 自動車等の同一型式判定要領 別表第 3（製作誤差の範囲）」によるものとする。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

13. 保証

納入後 1 年以内に、設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が 1 箇年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、受注者は発注者と協議のうえ、受注者に無料修理を行なわせることがある。

14. 納期

令和 9 年 1 1 月 1 日

15. 納入場所

広島高速道路公社（広島市東区温品一丁目 8 番 2 3 号）

16. その他の事項

16-1 製造期日等の指定

納入機は、新品でなければならない。

16-2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

- (1) 黄色灯火の規格、取付位置については「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱いについて（昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号（以降の改正含む）」に準じるものとする。
- (2) 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐え得るよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

16-3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

16-4 緩和申請等について

- (1) 本履行にあたり車両登録、規制緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が行なうものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。ただし、これによりがたい場合は発注者の指示を受けるものとする。
- (2) 入札書に記載する金額には、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料、及びリサイクル料金は含めないこと。発注者は、登録（届出）までに算出される当該費用の確定額を、受注者の請求により支払うものとする。

なお、完成検査にあたっては、自動車重量税の納付を証明する書類、自動車損害賠償責任保険証明書及びリサイクル券を提出すること。

16-5 製作仕様書及び図面等の作成

受注者は製作にあたり製作仕様書及び図面（一般図程度、塗装図）、製作工程表、輸送計画書により打合せを行い、発注者の承諾を受けるものとする。

16-6 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- (1) 本契約において、暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するものとする。
不当介入を受けた時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。下請負人等が不当介入を受けたことを認知した場合も同様とする。
- (2) (1)により警察に通報又は捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告するものとする。
- (3) (1)及び(2)の行為を怠ったことが確認された場合は、指名停止等の措置を講じることがある。
- (4) 本契約において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより納品に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うものとする。

以 上